

キッズコーナー

小学生、中学生に読んでもらいたい記事をおせています。読めない字があったら、おうちの人に教えてもらってね。

私たちの身近な文化財

海岸寺山門

これは、海岸寺の山門(お寺の正門)の写真です(図1)。海岸寺は、御幸町の、小金井街道と玉川上水が交差する小金井橋のすぐ北西にあります。



〈図1 海岸寺山門(正面)〉

海岸寺の山門は、江戸時代には鈴木新田という村でした。ここは今から300年ほど前に開拓されてできた村です。

海岸寺は、この鈴木新田の村人たちが先祖を供養するため建てたのがそのはじまりです。もともとは今の埼玉県秩父地方のもっとも山奥の「三峰山」にありました。

鈴木新田は新たに開拓された村のため、初めは村内にお寺がありませんでした。そのため、村人が先祖供養やお葬式をするときは大変でした。そこで村人たちは、別のところにある無住のお寺(お坊さんがいないお寺)を村内に移してこよとて考え、候補となったのが海岸寺でした。

市内に残された古文書によると、海岸寺は元文元年(1736)に幕府から許可が下り引寺(お寺の引っ越し)されましたが、すぐには境内の整備が進みませんでした。天明3年(1783)になり本堂が建設され、境内も整備されました。

海岸寺山門は、お寺の言い伝えでは、天明3年(1783)に本堂と同じところに建てられたとされ、鈴木新田の長谷部家のところにいた渡り大工(1カ所に住まずに各地に移って仕事を大工)の作とも伝えられています。現在の本堂は昭和33年に建て替えられたものですが、山門は当時のまま現在まで伝わっています。

文化10年(1830)に刊行された『新編武蔵国風土記稿』には、名勝小金井桜の玉川上水小金井橋周辺を描いた挿し絵があり(図2)、そこには小金井橋北西に海岸寺と思われる建物が描かれていて、その前に屋根付きの門があ

ります。言い伝えどおりであれば、これは、この山門が描かれたものと考えられ、少なくとも、海岸寺にはおおよそ200年前には山門があったことは確かだと思われます。

山門は主にケヤキが部材に使われ、屋根を支える二本の主柱の前後にそれを支える控柱がある四脚門という形式で、鎌倉時代の禅宗様と呼ばれる建築様式を取り入れたものといわれています。

屋根は切妻型(大棟から両側に葺きおろし、左右側面に屋根面がない形)で、茅というススキの一種の茎を束ねたもので覆った、いわゆる茅葺ですが、先ほどの挿し絵でも切妻型の屋根をしていることから、江戸時代当時からこの形態だったものと思われます。

このように、海岸寺山門は小平市にのこる古建築物として貴重なことから、平成元年3月1日、市の文化財に指定されました(有形文化財第7号)。

現在は劣化してほとんど見えなくなりましたが、山門の天井には墨で龍の絵が描かれています。お寺にとってその境内は仏の世界であり、山門はその入り口と位置付けられています。龍は仏教において仏を守る存在であり、仏に害をなす悪霊を食べて守るとされています。そのため、山門天井に龍が描かれるのは、山門からの悪霊の侵入を防ぐという意味があります。墨で描いた痕跡は、赤外線などを当てて撮影すると浮かび上がって見えるため、海岸寺では近年その技術を応用して龍の絵の復元が試みられました。

山門は、江戸時代当時の寺院建築の当時の様子をよく伝えていています。みなさんも山門を見学してその雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。



〈図2 『新編武蔵国風土記稿』「上水桜堤図」〉

小平市 平櫛田中彫刻美術館

夏休みは平櫛田中彫刻美術館で芸術体験

◆夏休みわくわく体験美術館

夏休みの一日を美術館で過ごしませんか。期間中、小・中学生は無料で観覧できます(同伴の保護者の方は観覧料が必要)。また、来館の小・中学生には、平櫛田中の生涯を描いた漫画『田中彫刻記』をプレゼントします(1家族に1冊)。

とき 7月17日(土)から8月30日(月)まで
午前10時から午後4時まで

対象 小・中学生

わくわく体験美術館の期間中に、美術館を楽しむためのヒントが詰まったワークシートを配布しています。漫画『田中彫刻記』とあわせて活用することで、平櫛田中に対する理解が深まります。

また、館内では平櫛田中の芸術について解説する音声ガイドの貸出しを行っています(有料)。



開館時間 午前10時から午後4時まで ※なるべく、午後3時30分までに入館してください。
休館日 火曜日
観覧料 一般…300円(220円)、小・中学生…150円(110円)
※カッコ内は、団体20人以上です。
※駐車場をご利用の方はご相談ください。
問合せ 平櫛田中彫刻美術館 ☎042(341)0098 小平市学園西町一丁目7番5号

◆展覧会「でんちゅうストラット」

平櫛田中の旧宅を会場に、武蔵野美術大学彫刻学科の教員たちと、彫刻界の第一線で活躍するゲスト作家の作品を展示します。

とき 7月28日(水)から9月6日(月)まで

ところ 平櫛田中彫刻美術館 記念館
観覧料 美術館の入館料で見学できます。(夏休みわくわく体験美術館の期間中は、小・中学生は無料)

◆開催中の展覧会 つながる彫刻

平櫛田中のコレクションから日本を代表する彫刻家の作品を展示します。「先生と弟子」「ライバル関係」「支援者」といった様々な関係が作品から浮かび上がってきます。

とき 9月12日(日)まで
午前10時から午後4時まで

令和3年度萩山公園・東部公園プールの営業は、中止します

7月13日(火)開催

東京2020オリンピック聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーが福島県からスタートし、いよいよ小平市でも7月13日(火)、聖火ランナーが聖火をつなぎます。

◆小平市の聖火リレー

▶走行ルート:【スタート】上水南町交差点 ⇒【ゴール】小平駅南口ロータリー

▶出発予定時刻:午後1時49分

▶到着予定時刻:午後2時31分

小平駅南口ロータリーでは、聖火の到着を祝うセレモニーを行います。

◆聖火リレーを応援しよう

▶沿道で観覧される方へ

- ・沿道では、マスクの着用をお願いします。
- ・大声は控え、拍手での応援をお願いします。
- ・人が密集している場所での応援は控えてください。
- ・体調が悪い場合は、観覧を控えてください。

▶インターネットライブ中継

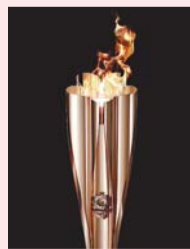
聖火リレーの様子は、インターネットのライブ中継で観ることができます。沿道での密集を避けるために、ぜひライブ中継をご覧ください。

https://sports.nhk.or.jp/olympic/torch/

▶聖火リレーのみどころ

東京2020オリンピック聖火リレーのトーチは、日本人に最もなじみの深い花である桜をモチーフにしています。

ユニホームの斜めがけのデザインは、日本で開催されるリレーで伝統的に使われる襷をモチーフとし、日本らしさと同時に、オリンピック成功への祈りが込められています。



画像提供: Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020



聖火ランナー走行ルート